

Corporate Profile

会 社 案 内

SINKPIA・JAPAN株式会社

本社

〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田3-5-26

TEL:045-590-3626 FAX:045-593-1150

港北事業所

〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町4545-2

「シンクピア」で検索してください

<https://sinkpia-j.co.jp>

お問い合わせは、お電話またはホームページから

 **0120-320-530**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SINKPIA・JAPAN(株)は、SDGs推進の取り組みが評価され
第6期「かながわSDGsパートナー」に登録されました。

アクセス

電車でお越しの場合、横浜市営地下鉄グリーンライン「北山田駅」下車、徒歩5分



SINKPIA・JAPAN株式会社

運ばず・燃やさず・その場で処理。

生ごみ処理機の室内設置を目指して

従来の業務用生ごみ処理機である堆肥型や乾燥型は、一定期間分の生成物を反応槽内などで蓄積させるための大きな容積と大きな動力源が求められ、また、生成物を取り出すスペースなど、屋外や屋外に近い環境での使用が主流となっています。

当社では、お客様の利便性を考え、屋外だけでなく屋内・室内での使用を可能にする製品化を目指し、『生分解液化方式』を採用しています。この方式は、生ごみを微生物の力で水分とCO₂などに生分解し、メッシュ構造の反応槽底部からその水分を排水に流して処理をします。そのため、原則取出しが不要となり、処理容量を超えない限り1日に何度でも生ごみを投入することができます。さらに、国内で発泡樹脂素材から作られた『微生物ハウス（多孔質構造で1粒に数億匹が生息できる環境）』は、軽量で水の影響を受けにくく、使用する4種類の微生物ハウスのいずれとも『シンクザイム（当社専用微生物群）』との定着率が高いことから、少量でも効率的な生分解と臭気の抑制も可能としました。小さな容積に小さな動力源を実現したことで、製品の小型化へとつながり屋内・室内の使用を可能としました。日本製のSINKPIA製品は、厨房機器に見劣りしないステンレス製筐体を採用し、業務用生ごみ処理機という先入観を変える美しさ、清潔感を実現しました。

生ごみ処理の常識を変える

当社では、生ごみの発生量が多い食品製造（加工）工場やスーパーマーケット、商業施設などの導入へ向けた大型機案件を進める一方、室内の限られたスペースに設置できる小型機案件（生ごみの発生量は少量だが、焼却処理以外の選択肢がない）にも力を入れています。例として、社員食堂・病院の厨房内、コンビニエンスストアのバックヤード（数十店舗での運用テスト中）、フェリーなどの内航船など、今まで困難とされてきた導入事案を増やしています。

さらに、生ごみ処理機を導入するだけに留まらず、国内外からのマーケットから実用化を求められている、次の取り組みにチャレンジしています。

- ①生分解性素材で製造した微生物ハウスの実用化（数カ所の施設で検証実施中）
 - ②生成物の液体肥料化・エネルギー資源として再生利用への研究
 - ③分解が困難な生ごみの処理に向けた、微生物・処理機本体の改良・改善
- 『運ばず・燃やさず・その場で処理』をテーマに、働き方改革につながる作業の効率化、CO₂削減によるSDGsなど環境への貢献を図り、お客様のニーズに応える製品づくりだけではなく、当社の製品を通じ、今後続く持続的な関係の構築にも取り組んでいきたいと考えています。



これからも、お客様と向き合っています。

会社概要

会社名	SINKPIA・JAPAN 株式会社（シンクピア・ジャパン）
本社	〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田3-5-26
港北事業所	〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町4545-2
TEL	045-590-3626
FAX	045-593-1150
URL	https://sinkpia-j.co.jp
代表取締役	松岡 清次
資本金	2,100万円
設立	平成18年9月5日
業務内容	ごみ処理機の設計、製作、販売 ごみ処理機のメンテナンス業務 ごみ処理機のリース業務 汚水・排水等の浄化装置の設計、製作、販売 環境に関する水、油、空気等の浄化処理機器及び装置並びにシステム機器の開発、設計、製作、販売、賃貸、工事の施工、保守、試験及び検査の請負 環境対策、管理に関するコンサルティング 前各号に付帯する一切の業務
取引銀行	三井住友銀行 溝ノ口支店 横浜銀行 港北ニュータウン支店 城南信用金庫 たまプラーザ支店 川崎信用金庫 勝田支店